

令和8年10月6日

南風原町長 金城 宏孝 殿

南風原町総合計画等審議会
会長 島袋 隆志



第六次南風原町総合計画について（答申）

令和8年6月29日、南企第331号で諮問のありましたみだしの件について、本審議会では慎重に審議を重ね、「第六次南風原町総合計画（案）」としてまとめましたので、別紙意見書を添えて答申いたします。

（添付資料）

- ・「第六次南風原町総合計画（案）」
- ・意見書

意見書

第六次南風原町総合計画の策定にあたっては、これまでの第一次から第五次までの総合計画の取組や成果を継承するとともに、社会経済情勢や地域を取り巻く環境における、自然災害の激甚化・頻発化、国際情勢の変化、人口減少や少子高齢化、デジタル技術の進展、地域コミュニティの希薄化など、その変化を十分に踏まえることが重要です。

また、こうした多様化・複雑化する地域課題への対応については、限られた人的資源や財源の中で、行政だけでは解決が困難な課題も増えており、町民・議会・行政の協働による持続可能なまちづくりを進めることが求められています。

つきましては、審議会において各委員からの提言・意見、パブリックコメントの意見等を十分に踏まえ、第六次南風原町総合計画の将来像「ともにつくる黄金南風の平和郷」の実現、目標達成に向け、町民との協働を推進し、積極的かつ効果的に取り組まれるよう意見いたします。

1. 町民への周知と参画の確保

町民との協働によるまちづくりを推進するため、本計画の趣旨や施策について町民への効果的な周知に努めるとともに、本計画の推進過程において町民が主体的に参画できる環境づくりを推進していただきたい。

2. 目標達成に向けた理解と横断的連携

本計画の実効性を高めるため、職員一人ひとりが本計画に掲げる将来像や施策の方向性を十分に認識するとともに、部局の枠を超えた横断的連携による実施を図り、各施策を総合的かつ効果的に推進していただきたい。

3. P D C Aによる進捗管理と評価

本計画の実施にあたっては、町民参画のもとP D C Aサイクルに基づいた進捗管理と効果検証を行い、社会情勢の変化や災害などの不測の事態に柔軟に対応した計画の見直しと、機動的な組織体制の構築を推進していただきたい。